

第11回 公開シンポジウム

ファッション・ビジネス

FBの未来に欠かせないエシカル精神とは
— サステナビリティ志向の思いやりと透明性 —



ファッション・ビジネスが大きな変容を迫られています。昨年来、WEFシンポジウムが取り上げてきた、AI(人工知能)などのデジタル技術やEコマース、SNSなどへの対応に加え、サステイナブル、エシカルといった、企業の社会的責任、あるいは「地球や人々へのコンシャス(思いやり)意識」が、これからの企業の発展に不可欠になってきました。

第11回となる今回は、いま、世界的な潮流となっているサステナビリティを取り上げ、FB企業が目すべき課題を明らかにしたいと企画しました。「サステナビリティ」は「持続可能性」などと訳されますが、1962年にレイチェル・カーソンが著書「沈黙の春」で、農薬などの化学物質の危険性を、鳥達が鳴かなくなった春に例えて訴えて以来、エコロジー、リサイクル、オーガニック、トレーサビリティ、と問題意識の拡大と対応策の模索が進められてきました。ごく最近では、バングラデシュの縫製工場崩落で死者1,127人を出した過酷な労働条件や、消費者が要求し始めた公正取引による「ビジネスの透明性(トランスパレンシー)」などを機に、エシカル(倫理性)の重視も主要な動きとなっています。

ファッション産業は、地球への負荷が2番目に大きい産業といわれます。流行を無作為に追い、売れなかったものは廃棄する、の繰り返しは、もはや許されなくなってきました。また時代は、ファッションに限らずあらゆる産業に、「利益追求だけではなく、社会の問題を解決する、あるいは、地球や自然の保全を意識し、持続可能なビジネスを構築する」ことを求めています。

このシンポジウムが、日本のFBの、周回遅れ、ともいうべき「サステナビリティ」への取り組みを、加速することになれば、と願っています。

一般社団法人 ウィメンズ・エンパワメント・イン・ファッション 代表理事 尾原 蓉子

<企画の狙い>

90年代後半、インターネットの普及とともに、ファッション界の裏側が「明るみ」に出るようになりました。途上国での生産の現場で劣悪な生産体制や児童労働の事実がネット上で表面化したのです。加えて、長らくコレクション取材を続けてきた私は、2000年を超える頃から、肌で気候の温暖化を感じ始めました。直感で、半年おきに小刻みにトレンドを送り出し果てしなく量を続けるファッション産業が、永遠にこのままの体制で進んでいけるはずがない——と考え始めると、程なくパリでエシカル・ファッションショー、ロンドンで展示会エスティカと、主要都市でフェアトレードやオーガニック・コットン、リサイクルをテーマにしたブランドを紹介する本格的な催しが始まり、一気にサステナビリティ(持続性)、トレーサビリティ(原材料や生産過程を明らかにする)、エシカル(自然環境や人への思いやり)といった言葉がファッション界に広まりました。現在ではトップブランドが動物愛護の観点から毛皮を使わない宣言も出てきています。利益最優先から社会還元型へと、経済のあり方自体がパラダイムシフトする今、時代にもっとも敏感なファッション産業がエシカル・シフトすることは、必然の流れとも言えることです。もともと着物文化は「もったいない」「捨てない」を唱えるサステナブルでエシカルな文化でした。そのスピリットを現代のファッション・ビジネスに応用することに、私たち日本のファッション産業に携わるものはもっと時間とエネルギーと智慧を費やすべきではないでしょうか?

特別委員長 生駒 芳子

会 場 東京ウィメンズプラザ B1「ホール」
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-67
<http://www.tokyo-womens-plaza.metro.tokyo.jp>

参加費 企業会員・個人会員のWEF規定内ご参加は無料
一般・企業会員・個人会員 3,000円 / 学生(先着30名) 1,000円

ご挨拶

18:30~18:35 WEF代表理事 尾原 蓉子

基調講演

18:35~20:40 (19:55~20:00 休憩)



慶應義塾大学大学院
政策・メディア研究科 教授
蟹江 憲史氏
「SDGsが地球と人間にもたらす変革」

2015年9月、国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標が、持続可能な開発目標=SDGs(Sustainable Development Goals)。「世界を変えるための17の目標」と出された項目には、環境保全から人道支援、さらには平和な世の中を作る道筋が盛り込まれ、まさに「エシカル」な地球を作るビジョンが掲げられている。このSDGsの特徴とは何か? 今後どのように進んでいくのか? 政府や企業、地方自治体はどのような活動をすれば良いのか? 環境学者として国際関係論、環境政策学に取り組んできた蟹江憲史氏が、自らの研究会でSDGsプラットフォームを立ち上げ、SDGsの向かう道筋を模索している。その視点から、ファッション・ビジネスにおけるエシカル・シフトの必要性、可能性について語っていただきます。



パタゴニア日本支社 支社長
辻井 隆行氏
「未来は、女性力を生かすコンシャス・エコノミー」

1973年、イヴォン・シュイナード氏により設立されたアウトドア用品の専門ブランド「パタゴニア」は、あらゆるCSR活動を先駆的に取り込んだ、徹底して環境に配慮したもので知られており、今やエシカル・ブランドのロールモデル的存在としてグローバルにその名を知らしめています。パタゴニアのミッション・ステートメントは「最高の製品を作り、環境に与える不必要な悪影響を最小限に抑える。そして、ビジネスを手段として環境危機に警鐘を鳴らし、解決に向けて実行する」。この秋には、修理プログラムに焦点を当てた「Worn Wear(ウオーン・ウェア)」イベントを開催し、服を長く愛着を持って着るというスピリットに多くの消費者が反応しました。2009年より日本支社長に就任した辻井氏からは、エシカルを実践する企業を代表する立場において、女性力をより生かす経済のあり方についてのメッセージをいただきます。



社会起業家/株式会社アパティ代表取締役社長
渡邊 智恵子氏
「オーガニックコットン事業を成功させた秘訣とは」

いまだオーガニックコットンが世の中に知られていなかった1990年、イギリス人のエコロジストからの依頼でオーガニックコットンの生地の輸入を始めたことがきっかけで、オーガニックコットンの事業を始めた。原綿を輸入し、糸・生地・製品までを一貫して「メイド・イン・ジャパン」にこだわった企画製造販売を行っています。近年では東北の雇用創出プロジェクトである「東北グラマンの仕事づくり」、子ども達の生きる原点を学ぶ「わくわくのびのびえこも塾」をはじめ、「一般財団法人森から海へ」や「一般財団法人22世紀に残すもの」を立ち上げるなど、ソーシャル事業にも力を注ぐ社会起業家として活躍しています。オーガニックコットン事業を通して生まれた「きれいな地球と幸せな社会を22世紀に残したい」という目標から、エシカル事業を軌道に乗せる秘訣を伝授していただきます。

まとめ

20:40~20:45 コーディネーター: ファッション・ジャーナリスト/WEF理事 生駒 芳子氏

懇親会 (別会場:アンカフェ)

21:00~22:30 希望者は、参加者と講師陣のネットワーキング懇親会へ(会費:3,000円)

主催: 一般社団法人 ウィメンズ・エンパワメント・イン・ファッション(プロジェクトWEF)

〒107-0052 東京都港区赤坂3-2-1-3 牧野ビル2F / TEL 03-4405-7059 / HP www.wef-japan.org / 事務局長 堀田瑞枝

PROFILE

慶應義塾大学大学院
政策・メディア研究科 教授
蟹江 憲史氏

慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授、国連大学サステナビリティ高等研究所(UNU-IAS)シニアリサーチフェロー、Future Earth SDG Knowledge Action Network(KAN)共同議長、日本政府持続可能な開発目標(SDGs)推進円卓会議委員、内閣府自治体SDGs推進のための有識者検討会委員、環境省ステークホルダーズ・ミーティング構成員などを兼任。専門は国際関係論、地球システムガバナンス。2012年度のFSを経て、2013年度から2015年度までは環境省環境研究総合推進費戦略研究プロジェクトS-11(持続可能な開発目標とガバナンスに関する総合的研究プロジェクト)プロジェクトリーダーを務めた。近著に蟹江憲史 編著「持続可能な開発目標とは何か:2030年へ向けた変革のアジェンダ」(ミネルヴァ書房 2017年)など。

パタゴニア日本支社
支社長
辻井 隆行氏

1968年東京生まれ。会社員を経て、早稲田大学大学院社会科学部修士課程修了。1999年、パートタイムスタッフとしてパタゴニア日本支社に入社。2009年より現職。入社後も長期休暇を取得し、グリーンランド(2003年)やパタゴニア(2007年)でシーカヤックと雪山滑降を組み合わせた旅などを行う。2014年より、長崎県の石木ダム建設計画見直しを求める活動(ishikigawa.jp)を通じて、市民による民主主義の重要性を訴える。

社会起業家/
株式会社アバンティ 代表取締役社長
渡邊 智恵子氏

1952年北海道斜里郡出身。明治大学商学部卒業。株式会社アバンティ代表取締役社長。日本でのオーガニックコットンの製品製造のバイオニア。2010年NHK「プロフェッショナル〜仕事の流儀」に社会起業家として取り上げられる。その後、2011年一般社団法人小諸エコビレッジ設立、代表理事就任。2014年一般社団法人わくわくのびのびえこども塾設立、代表理事就任。2016年一般財団法人森から海へ設立、代表理事就任。2017年一般財団法人22世紀に残すもの 発起人として活動を始める等各分野でも活動している。

ファッション・ジャーナリスト/WEF理事
生駒 芳子氏

VOGUE、ELLEを経て、2004年よりmarie claire日本版の編集長に就任。2008年に独立し、ジャーナリスト/プロデューサーとしてファッション、アートからクール・ジャパン、エシカル、社会貢献まで、幅広い視野で取材・企画・プロデュースを手がける。2011年から伝統工芸の開発プロジェクトを手がけ、現在はプロジェクト「WAO」「HIRUME」を発信。文化庁日本遺産プロデューサー、ジャパン・ファッション・ウィークのコミッティを務める。



一般社団法人 ウィメンズ・エンパワメント・イン・ファッション (呼称:プロジェクトWEF)とは?

ミッション・ステイトメント

ファッション関連分野で働く女性の活躍支援団体です。設立の目的は、主要ポストおよび商品企画やMD分野の女性リーダーを増やすとともに、女性個人の成長・成功を助け、企業・産業の成長発展に繋げる事にあります。女性が主体性を持ってキャリアすなわち人生を生きるパワーを醸成すること、また、ロールモデルの開発と表出にも注力します。

女性の
エンパワメントで、
ファッションと社会を
変える

女性が
仕事を通じて
自己実現し、
幸せを追求する

女性が
子育てをしながらも、
活躍が出来る
社会をつくる

■発起人(敬称略、五十音順)

青井 浩/青木 拓憲/新井 良亮/石川 康晴/大西 洋/岡本 均/菊池 眞澄/北村 みどり/肥塚 見春/佐々木 進/重松 理/設楽 洋/高梨 利雄/二橋 千裕/林 恵子/廣内 武/福田 三千男/前澤 友作/牧山 浩三/松井 忠三/三宅 正彦/村田 紀敏/森 英恵/森 文夫/柳井 正

■出捐企業・個人 ※企業名は出捐時名称(敬称略、五十音順)

青木 拓憲/旭化成せんい(株)/(株)アダストリアホールディングス/(株)アトレ/伊藤忠商事(株)/(株)オンワードホールディングス/(株)クロスカンパニー/クロスプラス(株)/重松 理/(株)ジュン/(株)スタートトゥデイ/(株)セブン&アイ・ホールディングス/(株)大丸松坂屋百貨店/(株)高島屋/(株)TSIホールディングス/(株)東急百貨店/(株)東京ソワール/(株)トゥモローランド/(株)DoCLASSE/東レ(株)/(株)バルコ/(株)ビームス/(株)ベイクルーズ/(株)丸井グループ/(株)三越伊勢丹ホールディングス/八木通商(株)/(株)ユニクロ/(株)良品計画/(株)ルミネ/(株)ワールド/YKK(株)

■企業会員(敬称略、五十音順)

(株)AOKIホールディングス/旭化成(株)/(株)アダストリア/(株)アトレ/伊藤忠商事(株)/(株)エイ・ネット/(株)オンワードホールディングス/ギャップジャパン(株)/クロスプラス(株)/(株)ケイト・スペード ジャパン/(株)コックス/(株)サダマツ/(株)シッパス/(株)ジュン/(株)スタートトゥデイ/(株)ストライプインターナショナル/(株)セブン&アイ・ホールディングス/(株)大丸松坂屋百貨店/(株)高島屋/(株)TSIホールディングス/(株)東急百貨店/(株)東京ソワール/(株)トゥモローランド/東洋紡(株)/東レ・ディプロモード(株)/(株)DoCLASSE/日華化学(株)/日鉄住金物産(株)/(株)阪急阪神百貨店/(株)ピーチ・ジョン/(株)ビームス/(株)ファーストリテイリング/(株)ファミリア/(株)ベイクルーズ/(株)ポーラ/(株)丸井グループ/三井不動産商業マネジメント(株)/(株)三越伊勢丹ホールディングス/八木通商(株)/(株)やまと/(株)ユナイテッドアローズ/(株)良品計画/(株)ルック/(株)ルミネ/YKK(株)

■設立委員会メンバー

尾原 蓉子/堀田 瑞枝/生駒 芳子/堀井 紀子/寺崎 志野/松浦 祥子/信田 阿芸子/山田 晶子/横森 美奈子

シンポジウム参加申込方法

E-mail または FAX にてお申し込みください。下記ホームページからも申し込み出来ます。

FAXの場合は、下の空欄のすべてにご記入いただき、

E-mailの場合は、同項目をすべて入力してお申し込みください。

折り返し、受付確認のご連絡をいたします。有料の方は振込先をご連絡いたします。

FAX 03-6730-1742

E-mail info@wef-japan.org

締切

12/5

火

フリガナ		
お名前	有料 (一般・企業会員・個人会員・学生) 無料 (企業会員・個人会員) <small>いずれかを ○で囲んでください</small>	
企業名	部署・役職	
住所		
電話番号 ※携帯可	メールアドレス	懇親会参加 <input type="checkbox"/>

>> WEFへの入会につきましては、ホームページをご参照ください。 >> www.wef-japan.org